

福井県公安委員会 開催概要

平成29年11月10日開催 「定例公安委員会」

会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 業務の効率化に向けたシステムの構築

県警察から、業務の効率化に向けて独自に開発した「アンケート・応問システム」について説明があった。

委員から「システムが構築され活用されているとのことであるが、ソフトウェアの維持管理はどうされるのか。」との発言があり、県警察から「今回のように、自主開発したソフトウェアについては、今後の改良・改善についても県警察自らで行う。また、業者へ委託し開発したシステムについては、費用をかけて業者に依頼する。」との説明があった。

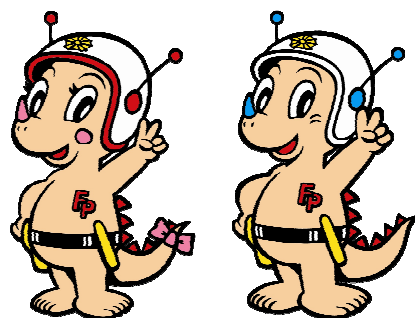
委員から「応問とはどのようなことをいうのか。」との発言があり、県警察から「パソコンの端末上で問題が出され、それに回答し、次に進むと正しい答えが表示されるe-ラーニングのようなものである。」との説明があった。委員から「今後、更に改良される場合は、設問の意図を回答者が理解できるよう工夫されると、より効果が上がるシステムになるのではないかと思う。」との発言があった。

委員から「業務の効率化には、システム開発が大きな比重を占めるので、開発に当たる人材の育成も必要である。そういった点も考えながら取り組んでいただきたい。」との発言があった。

(2) 特殊詐欺撲滅に向けた緊急対策の実施

県警察から、特殊詐欺認知件数の増加と特殊詐欺撲滅に向けた緊急対策の実施について説明があった。

委員から「県警察を挙げての対策であり、大変頼もしく思う。新たな取組について更に詳しく教えていただきたい。また、発生状況のデータを非常にわかりやすくまとめていただいているが、この認知件数には、未遂のものも含まれているのか。全国的にも特殊詐欺が増えているが、各警察がいろいろな対策を実施されており、その効果もあるのではないかと思うがどうか。」との発言があり、県警察から「電子マネーにより被害金を詐取する架空請求詐欺が今年になって急増しているため、コンビニ等に対し購入客への積極的な声かけを働きかけるなど、水際の抑止対策を一層強化して



いきたいと考えている。さらに、特殊詐欺で利用された携帯電話に係る電話会社等に対し契約解除を要請するなど、徹底した犯行ツール対策を行う。また、平成29年9月末時点での認知件数64件は、被害届を受けて認知した件数であり、未遂のものも含まれている。そのほか相談として把握しているものが10月末時点で80件ほどある。10月末時点の阻止件数は72件という状況である。」との説明があった。委員から「被害件数よりも防止できている件数が多く、詐欺対策が効果を上げていると言えるのではないと思うが、昨年よりも被害が増加傾向にあるということなので、体制を強化した取組に期待する。」との発言があった。

委員から「今回の緊急対策は、生活安全部門での抑止対策と、刑事部門での徹底検挙という連携した取組であり、大きな成果を期待する。」との発言があった。

委員から「緊急対策が、特殊詐欺被害の抑止につながるよう引き続き努力をお願いする。」との発言があった。

(3) 嘱託警察犬等審査会の開催及び警察犬の活動

県警察から、10月28日に開催された嘱託警察犬等審査会の結果と、警察犬の活動状況について報告があった。

委員から「厳格な審査により優秀な警察犬を採用していただき、高齢行方不明者の発見など効果的な活動が期待できる。また、警察犬の活躍は犯罪捜査にも大変有効であると思う。」との発言があった。

委員から「20頭を警察犬等として嘱託、認定したとのことであるが、頭数は増えているのか。」との発言があり、県警察から「昨年と比較し2頭増えているが、エリア別のばらつきなどもあり、更に増やしていきたいと考えている。引き続きしつけ教室を開催するなど、警察犬への関心を持っていただくような活動を今後も続けていきたい。今回、しつけ教室に来られた方が、初めて審査会にチャレンジした。警察犬の確保のため幅広く努力をしている。」との説明があった。委員から「飼い主の方に対する協力要請は大事なことだと思う。今後も優秀な警察犬の確保と、活動の拡大を図っていただきたい。」との発言があった。

委員から「警察犬の出動は更に増えると思われるので、県民の皆様の協力を得て、優秀な警察犬を運用できるよう働きかけていただきたい。」との発言があった。

(4) 飲酒事故を端緒とした酒類提供の禁止違反事件の検挙

県警察から、飲酒事故を端緒とした酒類提供の禁止違反事件の検挙について報告があった。

委員から「立件する上で捜査に苦労があっただろうと思う。マスコミで報道されることは非常に有効で影響力が大きい。今後も頑張っていたきたい。」との発言があった。

委員から「表面化されない同種事案がたくさんあるのではないと思う。捜査で証

抛となるものを収集することには苦労が多いただろう。この事件の検挙を、飲食店業界に対する飲酒運転抑止活動に生かしていただきたい。」との発言があった。

委員から「酒類提供罪での立件は初めてか。」との発言があり、県警察から「平成19年の道路交通法改正以降、6件目である。これまでの検挙は任意であり、酒類提供罪での逮捕は今回が初めてであることから、意味のある事件検挙である。」との説明があった。委員から「逮捕したことによって広報することができ、今後への警鐘になって飲酒運転抑止につながる。今後ともよろしく願います。」との発言があった。

2 個別決裁

(1) 公文書公開決定等報告（2件）

警察本部長に対する情報公開請求（本年9月29日及び10月11日付け）について公開決定等の報告を受けた。

(2) 平成29年度警察署協議会代表者会議の開催

平成29年度警察署協議会代表者会議の開催日等について説明を受け、これを決裁した。

(3) 審査請求に係る反論書の受理等

福井県公安委員会に対する審査請求に係る反論書の受理、審理手続について説明を受けた。

(4) 公文書非公開決定取消等請求事件の期日結果

福井地方裁判所で行われた公文書非公開決定取消等請求事件の弁論準備期日の結果について報告を受けた。

(5) 公用車交通事故に係る損害賠償額の決定と和解

公用車による交通事故に係る損害賠償額の決定と和解について説明を受けた。

(6) ストーカー規制法に基づく禁止命令の発令

ストーカー規制法に基づく禁止命令の発令について報告を受けた。

(7) 警察職員の援助要求

石川県及び富山県公安委員会に対する警察職員等の援助要求について説明を受け、これを決裁した。

(8) 警察職員の援助要求に対する同意

岐阜県公安委員会への警察職員の援助要求に対する同意を得たことについて報告を受けた。

(9) 事後強盗事件の検挙

本年11月6日に発生した越前市のパチンコ店における事後強盗事件の検挙について報告を受けた。

(10) 集団行動に関する許可事務専決状況

平成29年10月中の集団行動に関する許可事務専決状況の報告を受けた。

(11) 平成29年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練概要

本年11月22日に実施される中部管区広域緊急援助隊合同訓練の概要について説明があった。

(12) 全国公安委員会連絡会議協議事項説明

本年11月20日に開催される全国公安委員会連絡会議における協議事項について説明があった。

3 運転免許の処分関係

本日（11月10日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取等7件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。